



# 宇津木台 森遊会 実施報告

## 「第4回定例活動」「第2回市民講座」

No.2012-04

実施日	2012年7月22日(日) 10:00~16:00	天候：曇り	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)	涼しい一日	
参加者	参加者：14名(男性9、女性5) 衣川、細野、吉川、後藤、初田、原田、 中田(直)、中田(美)、諸岡、奥山(史)、奥山(孝)、田原、森山、松山 インストラクター：角田氏(神奈川県森林インストラクター)、金森		

### 実施内容

活動2年目の第四回目。市民企画事業「宇津木の森再生プロジェクト2012」の第二回目を兼ねる。オリンパス技術開発センター宇津木に10時集合。熱中症の対策と刃物の取扱いについて説明する。角田インストラクターを紹介の後、道具を準備して緑地へ出発。10時半から11時まで生垣を剪定する。みるみるうちに見通しが良くなった。その間に予め伐っておいた竹材を竹林から運んでおく。前回の活動で笹を刈ったエリアに遊歩道を作る。目的は植物を増やすために立ち入らないエリアを決めること、予め伐っておいた杭と市から支給されたロープを使う。角田さん指導のもと階段も設置する。竹を割り、節を取り流し素麺の樋にする。器や箸も自前で加工する。約2Kgの素麺があつという間になくなった。流し素麺は初めての参加者が多く、盛り上がった。食後にカキ氷で涼をとる。午後は角田さん指導のもとシュロの葉で編むシュロバツタに挑戦、リアルなバツタが仕上がった。技術開発センター宇津木に戻り、道具の手入れ、次回のお知らせをして解散、充実した一日となった。



20年以上放置された生垣を剪定してゆく



剪定前 → → → 見違えるほど綺麗になった



予め伐った竹材を運ぶ



再び出てきた笹を駆除する



階段と遊歩道で記念撮影



竹箸を作る



竹を割って樋にする



全長約12mの流し素麺



食後のカキ氷



シュロバツタ教室



編んだものを台に乗せて完成

### 連絡事項

- ・怪我、ヒヤリハットはなし。
- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は、大2個を宇津木台行きバス通りに面した入口に置く。
- ・次回は、8月26日、応急処置講座、ロープワーク実習を予定する。